
足りない

不国天有寿

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

足りない

【Zコード】

Z96740

【作者名】

不天国有寿

【あらすじ】

何気ない日常なんてそんなあるかい、そんな感じです。

(前書き)

初投稿です。文章も表現も全然ダメです。
よかつたらちらりと読んでください。

あれ、車の鍵かけたっけ…

車に背を向けて歩き出したその時、ついさっき、ほんの10秒程前に行つた行動を忘れる。

この場合、普通の人は鍵がかかっているか確かめるためにドアを開けようと/orする。

最近ではキーレスというものがあるので、その鍵をかけるボタンを押すだけ。
すぐに確認すればいい。

ではもう一つ。ふと何か忘れているような気がすることがある。忘れていることがあるのかないのか明確でないが忘れている気がする。

もしくは友人と会った時、友人がいつもとビコか違う。

何かはつきりとはわからないけど、何か違う気がする。

原因は友人が昨日散髪をしていたとか、これまでとは違うタイプの服を着ているとか。

ほとんどはきっとそんな簡単な理由。

もっと簡単なことだけど、競馬のコマーシャルの中で『知人が眼鏡からコンタクトにしたことになかなか気付かない人』を取り上げていた。

どこが違うかわからない。
だから怖い。

誰も気付かない。生まれてから、ずっと。
大学を出て、結婚もした。
家族も増える。

女の下で、お前はまだ無い。

(後書き)

わかりにくいですよね。

もっと細かく伝えようとしたら逆にリアルが無くなつて。
最初なので短いもの書いてみよつかなと思いました。
よかつたら感想アドバイス叱咤激励お願ひします。
次もなんか書きます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9674o/>

足りない

2010年11月17日12時02分発行